

6年生総合的な学習の時間のとりくみ 創作音楽劇『せかいの平和を願って』

静岡県焼津市立豊田小学校



1 活動のポイント

本校は、児童数1000人を越す大規模校です。「心豊かに学び続けよう」を学校目標、「気づいてうごこう」を重点目標とし、大規模校ならではのよさを生かした教育活動を進めています。

6年生は、例年、9月に修学旅行で東京方面を訪れ、総合的な学習の時間へとつなげています。平成25年度は、「平和」を中心テーマとしたため、焼津と関わりの深い「第五福竜丸展示館」、募金活動等で知られている「ユニセフハウス」を見学しました。また、毎年12月には、全校児童や保護者に学習したことを発表する「若木っ子学習発表会」を行っています。そこで、学んだことをわかりやすく伝えるため、『世界中の平和を願って』という創作音楽劇を6年生192人で披露し、募金を呼びかけることにしました。

2 実践 ～総合的な学習の時間「わかぎの時間」の流れ～

6年生のテーマ『平和』

(1)「平和」と聞いて、イメージするものは何だろう。

- ・自分自身で思いつくものを書き出していく。
- ・身近な人（家族・習い事の先生・近所の人など）にインタビューしてみる。
まだ戦争をしている国がある。
第五福竜丸（水爆実験）と焼津には、関係がある。
- ・平和に関する本を探して読んでみる。
- ・友達と意見交換をする。



世界の平和のために活動している団体がある＝「ユニセフ」

(2)「ユニセフ」って何だろう。

「第五福竜丸」ってどんな船なんだろう。

- ・インターネットや本、以前に送られてきたパンフレットを読んで調べる。



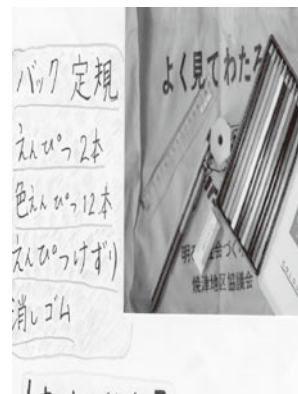
【ユニセフについて】



【友達と情報交換】



【自分の課題設定】



【夏休みの調べ学習】

- ・友達と情報交換をしたり、自分で調べたことの中で「疑問に思ったこと」、「もっと詳しく知りたいこと」などを『自分の課題』として設定する。
 - ・夏休みにも調査活動が続ける。
- 例) 焼津市主催の第五福竜丸講演会に行く。
- 新聞記事やテレビ番組で関係ありそうなものを探してみる。

(3) 課題解決に向け、修学旅行で「ユニセフハウス」と「第五福竜丸展示館」に行ってみよう。

【子どもの感想】

- ・水がめ・銃の重さ、テントでの生活を体験し、大変さが実感できた。
- ・ビデオを見て、どんな生活をしているのかより詳しくわかった。
- ・下痢で亡くなる子のお話を聞いて、きれいな水のありがたさを知った。



(4) 調べたことを発表しよう。

- ・同じテーマごとに集まって情報交換会を行う。

〈ユニセフ関係〉

- ①働く子ども ②病気の子供 ③戦争に行く子ども
- ④ストリートチルドレン ⑤ユニセフの技術支援
- ⑥ユニセフの支援物資 ⑦ユニセフの教育 ⑧募金

〈第五福竜丸関係〉

- ⑨第五福竜丸の出来事 ⑩乗組員のその後
- ⑪第五福竜丸から学んだこと

- ・テーマ別に模造紙にまとめて学年発表会をする。



(5) わたしたちも、ユニセフの活動に協力できないだろうか。

・募金に協力したい。

・多くの人が集まる若木っ子発表会で、平和について考えてもらえるようにしたい。

(6) どうしたら、(1年生から大人まで) みんなに、わかりやすく伝えられるだろうか。

・劇にすれば、みんなに興味を持ってもらえる。

・飽きずに見てもらえるように、歌や踊りも入れて音楽劇にした方がよい。

↓

(7) 創作音楽劇「せかいの平和を願って」を創ろう。

(8) 台本・歌・道具をつかって劇の準備をしよう。

・台本を読んで、クラスの担当場所を決める。

場面	内容	担当学級
①場面	学校生活・修学旅行	(4組)
②場面	水くみに行く子ども	(2組)
③場面	工場で働く子ども	(6組)
④場面	戦争に行く子ども	(1組)
⑤場面	第五福竜丸の悲劇	(3組)
⑥場面	ユニセフの活動	(5組)

・(子どもも教師も) 自分の特技を生かして係を選ぶ。

係名	学級別人数	係の内容
歌	6人	場面ごとに歌詞に合わせた歌を作曲し、みんなに教える。
踊り	6人	歌に合わせたおどりの並び方を考え、みんなに教える。
衣装	2人	服装を調べ、劇で使う衣装を作ったり準備したりする。
大道具	9人	背景の絵を模造紙に描き、場面の様子がわかるようにする。
小道具	5人	絵以外に場面の様子を表す道具を作ったり借りたりする。
PR	4人	ポスターやビデオで、みんなに見てもらえるように宣伝する。

・係別会合を開く。



「どんな曲にしようか。」



「鍵盤ハーモニカで音を出して曲を作っていこう。」



「外国の家は、
どんな家かな。」

「背景の絵を場面ごと
模造紙に描こう。」

※学年職員7名が、絵や音楽などの得意分野を生かし、係の担当になり、アドバイスをした。

(9) 発表会を成功させよう。

- ・前半、後半の2回公演にする。
- ・募金箱をつくって置いておく。



【音楽劇の戦争の場面】



【ナレーターの呼びかけ】



【音楽劇直後の募金活動】

【参観した保護者の感想】

もうすぐ中学生になる6年生は、さすがしっかりしていて、演技も上手で、お話に入り込んで見入ってしまいました。途中で何度も泣きそうになりました。(一緒に行ったおばあちゃんは泣いてしまいました。)内容がとても深く、修学旅行が有意義なものだったんだなあと思いました。

3 まとめ

「ユニセフハウス」を見学し、ビデオ鑑賞、ボランティアの方の説明、実際に物にふれることを通して、今まで遠くに感じていた世界のことが身近に感じられるようになりました。また、調べたことを紙に書いて発表するだけではなく、自分たちで音楽劇を創って演じたことで、セリフや動作を通して世界の子もたちの願いや思いを想像することができました。セリフや歌を何度も練習するうちに、子どもたちの中に「世界の子もたちを救いたい」という思いが高まっていくのがわかりました。発表会当日に集まった募金を見て、「自分たちの音楽劇で世界の子もたちを救うことができたのだ」「自分たちにもできるんだ」とうれしそうな表情を見せていました。これをきっかけに、「気づいてうごこう」の重点目標が学校内だけでなく世界へと広がっていったら、きっと「平和」な世の中になっていくと思います。子どもたちのこの学び「せかいの平和を願って」が、明るい未来につながっていくことを信じています。